

長野の林業

令和2年1月10日発行
長野の林業編集委員会

No.360

もくじ



年頭のご挨拶	2
トピックス「広葉樹林業のビジネス」	6
コラム 苗木生産の今	7
県森連だより	14
木材市売年間日程	15
木材市況	16

あけましておめでとうございます



JR篠ノ井線広丘駅近くに広丘支所・公民館、広丘公民館、子育て支援センターが配置された複合施設として、令和元年7月1日塩尻市北部交流センター（えんてらす）が開館しました。県産材を利用した木造（一部鉄骨造）です。特に子育て支援センターは県内で初めてCLT（直交修正板）が採用されました。木の香りのする地域住民の交流施設が誕生しました。



年頭の御挨拶



中部森林管理局長
吉村 洋

令和初の新春を迎えるに当たり、謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

昨年、ここ長野県では台風19号の豪雨により、千曲川流域で大規模な洪水が発生し、多くの尊い命が失われたほか、多数の家屋、農地、森林及びきのこ生産施設等が甚大な被害を受け、被災者の方々は大きな困難に直面しておられるところです。

ここに改めて犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災者の皆様に心からお見舞いを申し上げます。

また、日々懸命に災害復旧や被災者支援にあたられている長野県関係者の皆様に心から敬意を表するところです。

中部森林管理局におきましても、台風通過後速やかに長野県とも連携しながらヘリコプター等により被害状況を把握し、確認された国有林内の山腹崩壊地や林道の被災箇所については、早急に復旧すべく対応を

進めているところです。


また、林道の被災に伴い木材の供給にも影響が生じているところですが、早期再開や生産箇所の振替等により、極力市場への影響を軽減してまいります。

このような自然の猛威を目の当たりにし、森林の国土保全機能の維持・向上が極めて重要であることを一層強く認識したところです。

また、森林には、国土の保全のほか、水源の涵養、生物多様性の保全、レクリエーションの場の提供など、私たちの安全で豊かな生活のために欠くことのできない公益的機能を有しています。

さらに、森林の恵みであるも木材は、その利用を通じて、快適で健康的な住環境等の形成や地球温暖化の防止にも貢献するものです。

中部森林管理局では、国民共通の財産である国有林について、公益的機能を高度に発揮させるための管理経営とともに、関係の皆様と連携して長野県産材の需要拡大と安定供給に努めてまいります。

この一環として、当局の誇るブランド材である信州プレミアムカラマツ、 国木曾ひのき・東濃ひのき、段戸S.A.Nなどについても様々なニーズに応じたきめ細かな供給に努めます。

特に昨年は、大嘗宮の造営に向けて長野県の国有林からカラマツを供給させていただいたことは、長野県産材全体の信頼向上にもお役に立ったのではないかと考えている

ところです。

今後とも、これらの取り組みを通じて、地域の振興や林業の成長産業化のお手伝いをしてまいりたいと考えています。

森林・林業を取り巻く課題は多々あります。

とりわけ、深刻化する人手不足への対応が急務です。

中部の国有林の管理や木材の供給に当たっては、科学的知見やICTを積極的に活用し、より少ない人数で必要な水準を満たすための様々な取組を実証し、普及してまいりたいと考えています。

我が国では、有史以来、半ば収奪的に森林が利用され、その結果、明治期には各地で地表が露出した山々がみられていました。

戦後、「荒れた国土に緑の晴れ着を」をはじめとする国土緑化運動のスローガンの下、先人の営々とした植林のおかげで、我が国の森林は量的にはかつてなく充実しています。

先人から受け継いだ緑の恩恵を次世代に継承していくため、長野県、関係市町村、関係団体の皆様と連携しながら、地域林業の一層の発展に向け国有林として役割を果たして参る考えですので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

終わりに、長野県の森林・林業・木材産業の益々の御発展と、皆様の御健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ



長野県林務部長
井出 英治

新年明けましておめでとうございませう。皆様には、日頃から県の林務行政の推進にあたり、格別なる御理解と御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

県内に甚大な被害をもたらした台風第19号災害から二か月半が経ちました。お亡くなりになられた方々に改めて哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心より御見舞いを申し上げます。森林・林業関係においても、山地、林道、特用林産・木材加工施設が被災しました。これらの被害に対しては、国の補正予算等を活用しつつ、全力で復旧・復興に取り組んでおります。被災された皆様の思いに寄り添い、希望と安心を一日も早く取り戻していただけるよう、

「ONE NAGANO」の合言葉の下、多くの皆様と力を合わせてまいります。

我が国はもとより世界で頻発する豪雨災害等の大きな要因は気候変動と云われています。昨年十二月に、二〇五〇年に二酸化炭素排出量を実質ゼロとすることを目指して「気候非常事態宣言」を行いました。将来世代の命を守るためには、一層の県土の強靱化が必要です。森林や治山施設の整備を、国の制度も活用して重点的・計画的に進めてまいります。

本年度で三年目となる第二期森林づくり県民税を活用し、防災・減災の観点での未整備森林の間伐や、ライフライン等を保全するための危険木の伐採を引き続き進め、地域の安全・安心の確保を図ってまいります。

昨年四月には、森林所有者が自ら経営管理できない森林について、市町村が仲介役となって意欲と能力のある林業経営者と所有者をつなぐ、森林経営管理制度が導入されました。県としては、森林環境譲与税を活用し、広域的な運用体制の構築や市町村の取組に対して支援をしてまいります。

集約化され管理体制が構築された森林においては、充実した森林資源を活用

した、収益性が高い林業経営や多様な利活用が行われるよう、スマート林業等の先端技術の活用、路網の整備や高性能林業機械の導入支援、担い手の育成等もあわせて進めてまいります。

本年秋には、本県林業の再生と木材産業の振興等を目的とする信州F・POWERプロジェクトの本質バイオマス発電施設が稼働する予定です。県としては、安定的に原木が供給されるよう、引き続き関係者間の調整を行ってまいります。

また、春には、県産材をふんだんに活用した県立武道館が完成します。その他にも、木材加工施設の整備等、県産材製品の供給体制の構築や、子どもの居場所など県民の皆様にとって身近な施設の木質化への支援により、県産材の一層の利活用拡大を図ってまいります。

今後、県民の皆様や林業関係者の皆様と共に、本県の森林の恵みを活かして、気候変動対策においても重要な役割を果たす森林づくりや林業・木材産業の発展に取り組んでまいりたいと考えています。本年が災害のない、実り多き年となることを祈念して新年の御挨拶といたします。



災害復興と山が潤う 森林・林業を目指して



長野県森林組合連合会
代表理事 会長
藤原 忠彦

新年あけましておめでとうござい
ます。

皆様方には日頃から、長野県森林組合
連合会及び県下十八森林組合の運営にご
支援ご協力を賜り深く感謝申し上げま
す。

昨年は、十月に長野県を襲った台風
十九号をはじめ、九州北部豪雨や千葉県
に甚大な被害をもたらした台風十五号な
ど、気象災害が頻発した年でした。台風
十九号では、県内森林組合の事業地への
アクセスが寸断されたり、森林組合の事
務所でも被害が発生しました。また、千
曲川の堤防決壊に伴い、長野市穂保にあ
る当会の北信木材センターでは、敷地全
体が浸水被害を受け、センターの機能が

停止しました。皆様方の一方ならぬ協
力により、被災から半月ほどで丸太の受
入れと出荷の再開にこぎつけましたが、
仮事務所での営業が続き、関係の方々
にご迷惑をおかけしている状況となっ
ております。

森林・林業と森林組合をとりまく情勢
に目を転じますと、昨年四月から、森林
経営管理制度がスタートし、地域におけ
る森林管理の先導役としての森林組合の
役割が一層増しているところです。また、
木材価格に関しても一年を通して比較的
安定して推移しました。さらに、原料を
国産材に特化した合板工場が山梨県で生
産を開始したほか、バイオマス発電施設
も県下各地で稼働に向けて建設や試験運
転が進んでいます。一方で、当会をはじめ
、県内森林組合系統では、労働災害が
複数件発生し、安全衛生面の管理で課題
の残る一年でした。

本年は、台風十九号災害からの復旧復
興を目指すとともに、森林組合系統とし
て、次世代に豊かな森を引き継ぐため
に、再造林が可能な森林資源の有効活用
を進めてまいります。また、労働災害の
撲滅に向けて、それぞれの現場で安全管
理の徹底を図るほか、引き続き、系統一
丸となってコンプライアンスの徹底を図

り、風通しの良い組織づくりに取り組
みます。森林経営管理制度に関しては、当
会としても県及び市町村との連携を深
め、各森林組合が、地域で必要とされる
山作りを実践できるようサポートしま
います。現場での生産性や事務作業効
率の向上を目指して、木材流通の効率化
を見据えた木材市場のシステム改革や、
ICT(情報通信技術)の活用、森林調査
におけるUAV(無人航空機)の導入な
ど、実務に直結する技術の普及に取り組
みます。

また今年は、県内各地で新しい製材所
や木質バイオマス発電施設の稼働が予定
されており、県産材の更なる需要拡大が
見込まれるとともに、安定的な素材の供
給が求められています。引き続き、
安定的な需要先の確保に加えて、大径材
の活用をはじめとして、木材の付加価値
を高めて山元に還元できる仕組みづく
りを模索してまいります。

結びに、この一年が災害の無い良い年
となるように、また、長野県の林業を始
めとする関係産業の一層の発展、皆様
のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新
年の挨拶といたします。

次世代につなぐウッドファースト
社会の実現に向けて



長野県木材協同組合連合会
理事長
宮崎 正毅

令和二年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

日頃、皆様方には、当連合会の活動に対し、多大な御支援と御協力を賜っておりますことに、厚くお礼を申し上げます。昨年は、秋に大型台風が相次いで来襲し、特に台風19号による豪雨は、東日本に未曾有の被害をもたらし、長野県下においても、東北信地域を中心に、多くの方々が被災され、林業・木材業にも多大な被害が発生しました。被害に遭われた皆様には、心からお見舞い申し上げますとともに、早期の復興を願うところです。さて、戦後造林された森林資源は充実に期を迎え、資源の有効利用と環境保全の

面から、国産材利用の拡大が必要とされています。素材供給量の増加が見込まれる中、「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を確立し、川上―川中―川下間の適切な需給調整により山元への還元を図り、林業・木材産業による地域経済の振興と森林整備の促進による国土保全機能の向上を図ることが求められています。

こうした中、建築基準法等の改正により、都市部において木材の使用できる範囲が広がるとともに、CLTのような新たな材料やコンクリートと組み合わせ工法の開発・普及により、中高層建築物の木造・木質化の可能性が大きく広がっています。環境保全の見地とともに、戦後、長らく続いてきた非木造化の流れが変わりつつあります。

こうした制度、工法等を活用し、住宅はもとより非住宅（公共施設、店舗、医療福祉施設等）の分野においても、木材の利用拡大を図る必要があり、当連合会では、長野県をはじめ関係者と協力して、県産材利用の普及啓発と、今後供給が増えると思込まれる大径材の新たな需要開発に取り組んでいるところです。

昨年十一月に高知県で開催された全国木材産業振興大会では、「次世代につなげるウッドファースト社会を目指して」と題し、木材の復権に向け、消費者やユーザーの理解・協力を得ながら、木材産業界自らが率先して取り組んでいくことが決議されました。

当連合会といたしましても、国や県に対する要請活動や長野県議会農政林務委員会との懇談会を通じ、県産材利用の促進を要望するとともに、品質・性能が確かな、ユーザーの皆様が安心して利用していただける県産材を供給できるよう、信州木材認証製品制度の推進をはじめ森林認証材の普及などとともに、木材を適切に扱うことができる人材の育成確保にも取り組んでいるところです。

木材産業の振興とともに、木材を優先して活用するウッドファースト社会を実現し、「次世代につなぐ」ことに、微力ながら取り組んでまいります。

結びに、長野県の森林・林業・木材産業の発展と皆様方の御健勝と御多幸を心より御祈念申し上げます、新年の御挨拶とさせていただきます。



「広葉樹林業のビジネス化」で 北アルプス管内の広葉樹を活かす

北アルプス管内民有林面積の約七割を占める広葉樹は、地域特有の森林資源として期待される一方、利用可能な資源の位置や量が正確に把握されていないことや、伐採から販売までの実施例が少ないなど、広葉樹林業を進める上での課題も多く、ビジネスとして成り立たせるための検証を進めています。

本年度は、信州の木活用課による「スマート林業構築普及事業（広葉樹資源管理事業）」により、管内四カ所の広葉樹林で「ドローンレーザー」を活用した広葉樹林の解析を行い、樹種の識別や位置の特定技術の開発を進めるとともに、地域振興推進費を活用した「広葉樹素材生産モデル検証事業」により、素材生産のコストや樹種・径級ごとの売り上げ実態の把握を進めています。

また、令和元年十二月五日に開催した「大北地区森林整備実務者研修」では、国産広葉樹製品の加工販売を手掛けるオークヴィレッジ（株）（岐阜県高山市）の佐々木副社長を講師にお招きし、全国各地で取り組まれている広葉樹林業の六次産業化の事例が紹介され、川上（林業）・川中（製材）・川下（製品製造・販売）の連携の重要性や、銘木や大径材ではない「規格外広葉樹」を活用した製品開発・



佐々木副社長の講義

販売の取り組みなどを学びました。

さらに、研修にあわせて、大北森林組合の協力により地域産の広葉樹「十一樹種」の製材を行い、製作された約百二十枚の板について、樹種毎に評価や活用方法などについての意見交換も行いました。

なお、この広葉樹の板は、引き続き大北森林組合において天然乾燥を行い、反りや割れ、色合いの変化などの調査を行いながら、改めて地域産広葉樹の評価・検証を行い、今後の利活用に繋げていきたいと考えています。

研修の最後には、地域における広葉樹の活用に向けた具体的な課題についても議論されましたが、佐々木副社長からは「悩みは全国どこでも同じです。全てのことを一気に解決しようと思わずに、まずは地域の力でできることを、小さな仕組みから始めてみましょう。」とのアドバイスをいただきました。

この研修をきっかけにして、管内で広葉樹の活用に向けた動きが活発になることが期待されます。引き続き、関係者と連携した「広葉樹林業のビジネス化」への取り組みを進めていきます。

【北アルプス地域振興局林務課】



地域産広葉樹板の評価



広葉樹の製材

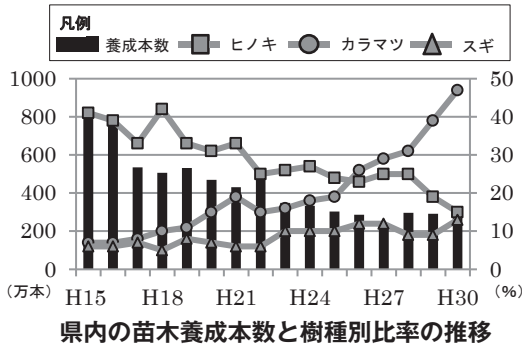


コラム 苗木を知ろう！ (第4回)

今回は、長野県における苗木生産の動向と課題についてです。

日本では、戦後多くの山林で植栽がなされ、今日の森林が出来上がり、長野県を含めて造林面積が減少しています。昭和40年当時、県内の養成(※苗畑に仮植している1〜3年生苗木)本数は2億2千万本を越えていました。単純比較は出来ませんが、現在の養成本数が3百万本に満たないことを踏まえれば、今では考えられないほどの生産量であったと言えるでしょう。なお、この当時は苗木生産を生業とする方も現在より多く、県内でおよそ60倍の方々が苗木生産に携っていました。

次に、直近15年間の県内の苗木生産の推移を見てみましょう。全体の養成本数は3分の1程度にまで減少していますが、樹種により傾向が異なっており、カラマツは2倍以上に増えています。また、コンテナ苗の生産量も年々増加しており、平成30年度産の出荷割合では、およそ40%となっています。



戦後に植栽された森林が成熟してきている昨今、主伐再造林面積は増加していくと見込まれています。他方、苗木生産は生産者の減少や高齢化が進んでいます。その中でいかに林業の「植える」「育てる」「利用する」というサイクルを循環させ続けていくかが今後の課題です。その解決には、造林面積及び苗木需要量の把握といった計画面に加え、効率的な生産体制の確立や苗畑での養成期間の短縮、植栽・管理の低コスト化といった技術面での向上が求められています。

【森林づくり推進課・信州の木活用課】



～環境にやさしく、温かみのある木材～
長野県産材で木のフェンスを作りませんか

お問い合わせは **長野県木材協同組合連合会**

TEL : 026-226-1471 E-mail : nkenmokuren@siren.ocn.ne.jp へ



謹賀新年



<p>一般財団法人</p> <p>長野県林業労働財団</p> <p>長野県林業労働力確保支援センター</p> <p>理事長 山口勝也</p> <p>役職員一同</p>	<p>長野県木材協同組合連合会</p> <p>理事長 宮崎正毅</p> <p>副理事長 佐原良彦</p> <p>副理事長 都築透彦</p> <p>副理事長 小宮林基英</p> <p>副理事長 小野島照幸</p> <p>専務理事 松本寿和</p> <p>事務局長 弘夫</p>	<p>長野県森林組合連合会</p> <p>会長 藤原忠彦</p> <p>副会長 林和弘</p> <p>専務理事 高田幸生</p>	<p>一般社団法人</p> <p>長野県林業センター</p> <p>理事長 藤原忠彦</p> <p>副理事長 宮崎正毅</p> <p>副理事長 水本豪</p> <p>常務理事 宮宣敏</p>	
<p>長野県治山林道協会</p> <p>会長 羽田健一郎</p> <p>役職員一同</p>	<p>国立研究開発法人 森林研究整備機構</p> <p>森林整備センター</p> <p>長野水源林整備事務所</p> <p>所長 春原武志</p> <p>長野県水源林造林協議会</p> <p>会長 白鳥孝</p>	<p>信州木材認証製品センター</p> <p>理事長 宮崎正毅</p> <p>副理事長 齋藤廣</p> <p>副理事長 高田幸生</p> <p>専務理事 小島寿和</p> <p>事務局長 松本弘夫</p>	<p>林業・木材製造業労働災害防止協会</p> <p>長野県支部</p> <p>支部長 宮崎正毅</p> <p>支部長 高田幸生</p> <p>専務理事 阿部勝彦</p>	<p>長野県林業団体協議会</p> <p>会長 高田幸彦</p> <p>副会長 藤原忠毅</p> <p>副会長 宮崎正豪</p> <p>副会長 水本豪</p>
<p>長野県林業薬剤防除協会</p> <p>会長 牧司</p>	<p>森林・林業の総合アドバイザー</p> <p>一般社団法人</p> <p>長野県林業コンサルタント協会</p> <p>理事長 羽田健一郎</p>	<p>長野県山林種苗協同組合</p> <p>理事長 富澤修一</p> <p>組合員一同</p>	<p>長野国有林森林整備協会</p> <p>会長 花見隆弘</p> <p>副会長 林省三</p> <p>専務理事 酒井弘夫</p> <p>長野市稲葉母袋沖六一二一二</p> <p>TEL (026)28519070</p> <p>FAX (026)28519071</p>	<p>一般社団法人</p> <p>長野県猟友会</p> <p>会長 竹入正一</p>
<p>緑の担い手</p> <p>信州上小森林組合</p> <p>代表理事 倉沢明人</p> <p>組合長 役職員一同</p>	<p>緑を育て山を守る</p> <p>佐久森林組合</p> <p>代表理事 山岸喜昭</p> <p>組合長 役職員一同</p>	<p>レストラン 四季の味 樹木里</p> <p>南佐久南部森林組合</p> <p>代表理事 藤原忠彦</p> <p>組合長</p>	<p>南佐久中部森林組合</p> <p>代表理事 黒澤和夫</p> <p>組合長</p>	<p>南佐久北部森林組合</p> <p>代表理事 佐々木勝</p> <p>組合長</p>

謹賀新年



農林中央金庫

部長 竹 淵 晶 代
関東業務部

長野県造林協会

会長 藤 原 忠 彦

長野県森林組合長会

会長 林 和 弘

長野県林業普及協会

一般社団法人
会長 林 和 弘

長野県林業経営者協会

会長 神 戸 直 日

長野県特用林産振興会

会長 林 和 弘

長野県林業研究グループ 連絡協議会

会長 長 田 中 忠

長野県林業士会

会長 飯 森 幸 彦

長野県生産森林組合 等団体有林連絡協議会

会長 鮎 澤 光 昭

佐久森林林業振興会

役員員一同

上小林業振興会

会長 長 羽 田 健 一 郎
役員員一同

諏訪地域森林づくり 林業振興会

役員員一同

上伊那山林協会

役員員一同

下伊那山林協会

役員員一同

木曾山林協会

会長 長 貴 舟 豊
役員員一同

松本地域森林 林業振興会

役員員一同

諏訪森林組合

代表理事 藤 森 良 隆
組合長 役員員一同

上伊那森林組合

もりもり上伊那
代表理事 白 鳥 孝
組合長 役員員一同

飯伊森林組合

代表理事 林 和 弘
組合長 吉 澤 悦 史
常務理事 役員員一同

根羽村森林組合

信州根羽すぎ・根羽ひのき
代表理事 大 久 保 憲 一
組合長 役員員一同
下伊那郡根羽村四〇七一一〇
☎(〇二六五)四九一二二〇



謹賀新年



北佐久木材協同組合

理事長 新井 藤弘
組合員一同
事務所 小諸市大字平原四ツ谷原九九七
☎(〇二六七)二二二二一〇
FAX(〇二六七)二四一〇六八三

上小木材協同組合

理事長 小林 基英
組合員一同
事務所 上田市芳田一八一八一
☎(〇二六八)三五一四〇〇

東信素材生産事業協同組合

代表理事 星野 勝好
組合員一同
小諸市大字平原四ツ谷原九九七一
☎(〇二六七)二二二二一〇
FAX(〇二六七)二二二二一〇

南安曇木材協同組合

理事長 佐原 良彦
安曇野市豊科四九三二一三九
☎(〇二六三)七二二二一〇〇

飯伊木材協同組合

理事長 松下 勝彦
事務局 飯田市常盤町三〇
☎(〇二六五)三三三三三六一

瑞穂木材株式会社

木材製材販売・住宅資材販売
代表取締役 宮崎 正毅
下高井郡木島平村大字穂高三三二八一
☎(〇二六九)八二一三一八
FAX(〇二六九)八二一四一五六

宮澤木材産業株式会社

代表取締役 宮澤 遥
長野市中曾根二一八八一五
☎(〇二六)三九一〇五八八
FAX(〇二六)三九一〇五八八
環境事業部
☎(〇二六)三三九一三二六〇
FAX(〇二六)三三九一三二六〇

齋藤木材工業株式会社

代表取締役社長 齋藤 健
〒386-0603 長野県小県郡長和町古町四二九四
TEL(〇二六八)六八一三五五〇
FAX(〇二六八)六八一〇二二二

株式会社マルオカ

木材、建材、住器、サン販売
プレカット(構造、羽柄)、住宅用パネル
代表取締役社長 岡健一郎
長野市吉田五二二五二七
☎(〇二六)二四三二二二八

北信木材生産センター協同組合

代表理事 町田 光幸
長野市大字穂保字中ノ配三四二

株式会社吉本

代表取締役 由井 正隆
南佐久郡佐久穂町大字平林二二二
☎(〇二六七)八六一四三〇五
FAX(〇二六七)八六一五五四四

日本林業土木(株)

長野野出張所
所 長 竹内 正比古
長野市岡田町三〇一六一
長野県林業センタービル内
☎(〇二六)二二七六一八五

みどり産業株式会社

代表取締役社長 洞 和雄
本社/長野市大字稲葉二四二三三長野野友ビル
☎(〇二六)二二四一八七〇八
FAX(〇二六)二二二二二九九

日本森林技術協会

一般社団法人
長野事務所 所長 油井 章次郎
長野市中御所岡田町三〇一六
☎(〇二六)二二七一六六〇

株式会社中部森林技術コンサルタンツ

建設コンサルタンツ
(森林整備治山林道環境事業等
森林の総合調査設計)
支店長 長谷川 洋
長野市稲葉中千田沖二〇四〇一
☎(〇二六)二二四一八七一〇

株式会社飯田綜合木材センター

代表取締役 松下 勝彦
長野県飯田市鼎切石四三六七番地
TEL(〇二六五)一三二二七七
FAX(〇二六五)一三二二五六七

和合森林組合

代表理事 村澤 博光
組合員一同
役員一同

木曾森林組合

代表理事 神村 光雄
組合員一同

木曾南部森林組合

代表理事 坂家 重吉
組合員一同
役員一同

南木曾町森林組合

代表理事 藤原 和年
組合員一同
役員一同

謹賀新年



“自然と共に”
NPO法人 **森林環境**
理事長 湯沢要次
長野県駒ヶ根市経塚七一一
☎(〇二六五)八一—四八〇三

代表理事 組合長 桑原重雄
役員一同
栄村森林組合

代表理事 組合長 中山稿一
役員一同
北信州森林組合

代表理事 組合長 酒井美明
役員一同
長野森林組合

代表理事 組合長 吉田満男
役員一同
松本広域森林組合

信州・松本平の豊かな風景をつくる
株式会社 柳沢林業
松本市岡田下岡田七七四—
☎(〇二六三)八七—五三六一

グリーンプラマーク取得
松くい虫防除シートは
まつのひょうろ
地球にやさしい
生分解性プラスチック使用の
くん蒸用被覆シート
信濃化学工業株式会社
〒381-0045
長野県長野市桐原1-2-12
TEL 026-243-1115
FAX 026-243-1520

代表取締役 中島武東
佐久市取出町二〇三—七
☎(〇二六七)六二—五七〇〇
有限会社 中島林業

素材生産請負・森林整備
立木買付・生産販売
王滝林業有限公司
取締役社長 西路明
木曾郡王滝村四五六三—二
☎(〇二六四)四八—二三六三
FAX(〇二六四)四八—二三六三

立木買取り・生産販売・支障木処理
特殊材注文販売・産業廃棄物処分業
木材森林整備認定事業体
平澤林産有限公司
代表取締役 平澤照雄
長野県伊那市西春近四一〇五番地
TEL(〇二六五)七八—二二八八
FAX(〇二六五)七六—五七七五

サンドキーパーマツト
SN緑化万能マツト
カゴ枠・大型カゴ枠・パネルフトン籠
株式会社 酒井工業所
松本市村井町南三丁目一〇番一四号
☎(〇二六三)五八—三二〇〇
FAX(〇二六三)八六—三三八一

森林整備・素材生産(産廃)収集運搬業
支障木伐採・処理 薪販売
オガサワラ林業有限公司
代表取締役 小笠原良一
松本市中山四一三五—四
☎(〇二六三)五八—五九三九

素材生産事業、森林整備事業
有限会社 高遠興産
代表取締役 林敏行
〒396-0023 長野県伊那市山寺一五五八—
☎(〇二六五)七二—五三〇八
FAX(〇二六五)七二—八三〇八

大栄産業株式会社
松本市波田二九五—一三七
☎(〇二六三)九二—五〇五一
FAX(〇二六三)九二—五八〇九
ホームページアドレス <http://www.daisangy.co.jp>

唐松・杉・桧各種 素材丸太・製材品
組建物・看板・加工一般・施工一式
新型インサイジング
(角材及び円柱可能)
防腐加圧処理(ACQ・その他)
※加圧処理は、長さ16.0mまでできます
ウッドレリーフ製作

Engineered Wood
LVL
かわかみ保育園(川上村産カラマツ)
KEYTEC™
03-5534-3741 <http://www.key-tec.co.jp>

損害保険代理店・環境事業計画施工・墓石
株式会社 モリレン長野
代表取締役 田中 高德
生産森林組合・集落等の作業従事中 傷害補償制度
おてんま傷害保険
管理下における傷害のみ補償特約付普通傷害保険
長野県長野市中御所岡田町30-16
TEL 026(267)6636 FAX 026(226)2225

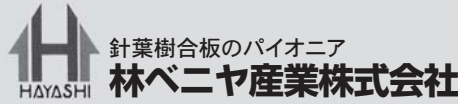




謹賀新年



信州の木認証合板で 地産地消の緑の循環



(本 社) 06-6228-1401
(北陸営業所) 0767-52-4376

国内産ヒノキ間伐材使用 高圧木毛セメント板製造・販売

タケムラ 竹村工業株式会社

下伊那郡松川町上片桐4604
TEL 0265-36-6111
FAX 0265-36-6555
info@takemura.co.jp

長野森林組合 お年賀のご案内

鬼無里の食品工場で製造した、地元・国産原料を使用し、合成化学調味料など不使用の安全・安心な詰合せはいかがですか。

◆お問合せ

長野森林組合 鬼無里事業所
〒381-4301 長野市鬼無里2552番地
TEL: 026-256-2233
FAX: 026-256-2234



ご飯大好きセット
(他にも各種ございます)

*直送やのし対応も可能ですので、
お気軽にお問合せ下さい。



2020 令和2年 新春初市のご案内

製品 第23回全市連国産材需要拡大製材品特別展示大会

1月25日(土) セリ 売出し9時 保証金10万円

原木 国有林土場等活用委託市 1月8日(水) 開札10時30分

坂下事務所 1月15日(水) 入札13時 保証金10万

荻原事務所 1月28日(火) 入札13時 保証金10万

第232回 国有林土場活用委託販売市売ご案内

◎入札日 令和2年1月8日(水)

◎入札締切 午前10時30分

◎入札会場 木曽官材市売協同組合2階大会議室

※本市売は、これまでの木曽地区国有林の公売に代わるものです

材種	署名	樹種	見込数量	主要銘柄等
素	木曽森林管理署	木曽ヒノキ	285㎡	特木(174㎡) 尺上・B材(30㎡) 長尺材(10㎡) 特A(61㎡) 特B(10㎡)
		ヒノキ (内 ㊦木曽ひのき)	1,230㎡ (1,182㎡)	並柱(123㎡) 3m 曲(325㎡) 3m 24上(34㎡) 2m (29㎡) 4m 直(201㎡) 4m 曲(418㎡) 4m 土台(60㎡) その他(40㎡)
材	(南木曽支署を含む)	天然サワラ	81㎡	特木(40㎡) B材(34㎡) 尺上(7㎡)
		その他NL	970㎡	特木ヒノキ(675㎡) N特木(210㎡) 人サワラ(55㎡) カラマツ(8㎡) L特木(19㎡) ヒバ(2㎡) コウヤマキ(1㎡)
総計		195種	2,566㎡	

※入札参加資格・入札条件等詳細については下記へお問い合わせください。

※素材の物件所在地は、木曽森林管理署・南木曽支署の各土場又は、山元です。



木曽官材市売協同組合

〒399-5604 長野県木曽郡上松町正島町2-45

tel (0264) 52-2480 (代) fax (0264) 52-1155 (フリーボーリング)

ホームページ <http://www.kisokan.com/> 入札物件詳細・入札物件結果 掲載



謹賀新年




美しい信州の緑や森林づくりのため、 「緑の募金」にご協力をお願いいたします。

緑の募金スポークスマン運動

『木一本 水一滴 燦・賛運動』を推進しております。
一滴の命の水は一本の木の樹から生まれます。そんな想いを形にしたピンバッチとストラップです。このピンバッチとストラップが多くの皆さんの身近で輝くことで、森林が元気になります。

募金1,000円以上



《鹿革のピンバッチ》

色々な影響で増えすぎたニホンシカが森を荒らしてしまわないように今捕獲を行っております。
森林の管理には、野生動物の管理も必要とされていることを理解してもらうために捕獲されたシカの皮を活用し、障がいのある方や社会的に働く場が得にくい方々が1つ1つ丁寧に作っております。
(緑色、青、黄色、白、オレンジ、キャメル、赤、ピンク全8色)

募金500円以上



《オリジナルピンバッチ》



《木曾ヒノキ》

木曾郡王滝村の職人が木曾の復興を願って1つ1つ丁寧に作っております。



木が伝えてくれる物語7
《森のくまさん 木曾物語》
好評発売中

令和2年度に新作を発刊予定!

公益財団法人 長野県緑の基金

長野市大字南長野字幅下692-2 長野県庁内
Tel 026-232-0111(内線4819) Fax 026-234-0330
Eメール: green@midori-joho.gr.jp
ホームページ: <http://www.midori-joho.gr.jp/>

森林組合経営改善 支援事業について

長野県森林組合連合会では、平成28年度から4年間、「森林組合経営改善支援事業」を実施しています。これは、大北森林組合の補助金不適合受給問題を受け、県内森林組合系統の組織運営の見直しと公正な会計処理の徹底を図ること等を目的としています。学識経験者や実務経験者、行政機関等から構成される「森林組合経営改善支援委員会」を設置するとともに、公認会計士及び中小企業診断士等の専門家を各森林組合に派遣、経営診断を実施して改善指導や助言を行っています。

平成28年度は、3つの森林組合で、平成29年度から平成31年度にかけては、各年5組合ずつ実施しました。本事業では、県下すべての森林組合で専門家による経営診断が実施され、組織運営で見直すべき部分や事業実施上での課題など、これまで見過ごされてきた現状が可視化されました。各森林組合では、診断内容を受け止め、今後の組合運営及び事業改善が求められます。また、当会としても、また、平成29年4月28日に、当

会と長野県森林組合長会の連名で行った、「県内森林組合系統の信頼回復に向けた行動宣言」に基づき、各森林組合では、公的資金を使用して実施した森林整備事業について事業の執行状況等を個別に公表しています。当会のHPでは組合ごとの施策面積や事業費、補助金等について、一覧にして掲載しています。

今後も、森林組合系統では、信頼回復に全力を尽くすとともに、各組織内でのコンプライアンスの徹底と、責任ある地域の森林管理の担い手として、事業を進めてまいります。



経営診断報告会の様子

信州大学農学部で職場説明

令和元年12月16日、信州大学農学部(南箕輪村)で開催された「森林系OB・OG懇談会」で、職場説明を行いました。これは、信州大学農学部が、「就職ガイダンス・

就職対策講座」の一環で開催したものです。

当会のブースには、10名程度の学生が話を聞きに来てくださいました。普段、森林や林業について学ぶ学生でも、森林組合・県森連の具体的な業務を知っている学生は少なく、系統の理念や事業内容の周知の重要性を感じました。

今回の懇談会を通して、森林組合系統に興味を持ち、進路として検討してくださる学生が増えることを願っています。



ブースで個別説明

県立大学に木製品寄贈 農林中央金庫

令和元年12月18日、農林中央金庫関東業務部から、長野県立大学(長野市)に木製のパーティションが贈呈されました。このパーティションは、中部森林管理局が昨年度MIDORI長野りんごの広場で実施した、「ブランド材を用い

た新たな洋風パーティションコンペ」でグランプリを獲得した作品で、市松模様が立体的に浮かび上がるデザインが特徴です。

当日行われた贈呈式には、農林中央金庫や中部森林管理局、県立大学の関係者に加えて、パーティションのデザイナーである馬場英実氏、長野森林組合の酒井組合長、当会からは高田専務が出席しました。

また、贈呈式に合わせて学生向けに開催された、県産材の利用方法のイノベーションを考えるワークショップでは、オブザーバーとして、上田市在住で林業・木材ライターの赤堀楠雄氏が招かれ、木材の活用用途についてお話がありました。普段、林業や木材産業に関わることのない参加学生も、木製品のすばらしさを感じる事ができました。



パーティションと贈呈式の様子



2020年 長野県内木材市売日程



長野県森林組合連合会				木材	木曽官材市売協同組合				
飯伊 森林組合 木材共販所	伊那木材 センター	中信木材 センター	北信木材 センター		本部 (製品)	荻原 (原木)	坂下 (原木)	国有林土場等 活用委託販売	
初市 23(木)	初市 9(木) ひのき祭り 29(水)	初市 8(水) 30(木)	初市 9(木) 広葉樹祭り 29(水)	1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	初市 第23回 全市連国産材需要拡大 製材品特別展示大会 25(土)	初市 28(火)	初市 15(水)	初市 8(水)	
18(火)	19(水)	18(火)	19(水)		特選材市 22(土)		5(水)	19(水)	4(火)
27(金)	10(火) 26(木)	9(月) 25(水) 広葉樹祭り	10(火) 26(木)		年度末謝恩市 14(土)		4(水)	18(水)	3(火)
23(木)	15(水)	16(木)	15(水)		花まつり 第46回全木協連優良 国産材製材品展示会 18(土)	春季謝恩市 21(火)	2(木) 春季謝恩市 22(水)		14(火)
28(木)	14(木)	13(水)	13(水)		新緑まつり 16(土)				12(火)
26(金)	3(水) 24(水)	4(木) 25(木)	3(水) 24(水)		荷主会結成 52周年記念市 13(土)		3(水) 23(火)		9(火)
30(木)	15(水)	16(木)	15(水)		第53回 木材まつり 18(土)		8(水) 中元謝恩市 22(水)		7(火) 28(火)
27(木)	6(木)	5(水)	4(火)		特選材市 22(土)		5(水) 26(水)		18(火)
30(水)	3(木) 24(木)	2(水) 23(水)	2(水) 24(木)		特選材市 19(土)		9(水) 開設22周年記念市 25(金) 24(木)		8(火)
29(木)	14(水)	15(木)	13(火)		開設53周年 記念市 17(土)	創設65周年記念市 第36回 日本美林まつり 20(火)	7(水) 21(水)		13(火)
26(木)	開設59周年 記念市 17(火)	開設58周年 記念市 16(月)	開設62周年 記念市 18(水)		えびすこう 謝恩市 14(土)		4(水) 25(水)		10(火)
納市 18(金)	納市 16(水)	納市 15(火)	納市 16(水)				納市 10(木)		2(水)

市売の最新情報については、各事業所にお問い合わせいただくかHPをご確認ください。

